



米丸文武議員

有害鳥獣対策について

町長 / 来年度計画を

農業振興

米丸 猪・鹿・猿などによる農林産物の被害が拡大している。
本年、鳥獣被害防止特別措置法が制定されたが、町の取り組みは。



被害防止用の電気柵

町長 昨年度は5500万円の被害で、猪・鹿による被害が65%、県、町単独事業で電気柵の設置を推進しながら年間を通して猟友会に捕獲を委託し昨年より67頭多く捕獲しました。
日本猿については、難しい状況ですが来年度計画を考えています。

広紅樹林の推進は

町長 / 拡大を
考える

米丸 災害防止や山林の

保全、有害鳥獣対策の面から、山の上部に広葉樹林の拡大推進を図る考えはないか。

町長 餌になる広葉樹林が少なくなり、人里に猿が降りてきて農産物の被害が多発しています。
永野の白石町有林のクヌギ林（7.8ヘクタール）は餌場として伐採せず、他の針葉樹皆伐跡と民有林の所有者にも同意を得ながら広葉樹の植栽など拡大を図ります。

健康づくり

健康づくり日本一宣言を

町長 / 目標をもって活動する



麥田博稔議員

麥田 医療費適正化計画を達成するために「健康づくり、日本一」とか「食育の町、日本一」宣言をして、町民の理解、協力を求めるべきではないか。

町長 現在、健康増進課を中心として、健康づくり運動を行っています。最終的には「健康いきいき元気さつま」宣言という様な健康づくりの町宣言につながる様な目標を持って活動をしていきます。



温泉プールを活用した健康づくり教室
（水中ウォーク教室）

第三子以降の 支援策を

町長 / 検討します

麥田 県も第三子以降の保育料等の助成拡大を決めた。

我が町も少子化対策、

子育て支援の面から、第三子以降の支援策を考えるべきではないか。

町長 第三子以降の支援策については、検討に値することだと思つので、今後、担当課と一緒に検討いたします。